



No.50 2020.5.8

明石市コミュニティ・スクールだより

人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

## コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

ポストコロナ時代の社会と教育の可能性 苫野一徳×尾原和啓



5月5日に苫野一徳先生と尾原和啓先生の Zoom と YouTube を使って東京&熊本&バリ島を結んでのライブオンライン対談が開催されました。苫野先生、そして尾原先生のお話は新鮮で、時計が早回りで進んでいるということを感じました。お二人の対談から今後 AI が教育現場に入り、個別最適化された学びが充実すると共に、学校での学びにおいて探求のウエイト

が大きくなっていくという方向性が見えたように思います。苫野先生は、中高生と Zoom 等での対話の中で、「今、先生が授業の動画を一生懸命作っているけど、面白くない。面白い授業動画はすでに YouTube やネット上にはたくさんある。ただ、一人で勉強するのは寂しい。」ということを知り、教師の役割として「ネット上での学びをコーディネートすると共に、子どもが一人でない環境を作る」といったことを言われていました。そして子どもにこの期間を通じて自分で自分のルールをつくるという経験をさせて欲しいといったことも言われていました。こうした話の中で今、コロナ後の学びの在り方を考えるところから、もうすでにコロナ後の学びづくりが始まっていると感じました。また尾原先生のお話から、ニューノーマルが動き始めた社会で、学校だけが、オールドノーマルの社会から抜け出せないのではと心配になりました。

今回の対談を企画した“Learn by Creation”はこれからの時代で求められる「学び」を考えるために学校という枠組みを超えて、教師、保護者・子ども、そして一般市民が社会で創造的実践を行う起業家、クリエイターと対話できる場をつくり新たな学びをつくろうと活動されています。こうした講師さんを招いての研修会が、このようにネット上ではライブで、また動画として見て参加することができます。これからの社会ではこうした研修が普通になるのだと思います。今回このオンライン対談に参加してみて、在宅勤務の中でも、こうしたネットでの動画を見た後、参加者で熟議することも十分可能であり、実施していかなければいけないと思いました。もちろん参加者は教師だけでなく、保護者等一般市民も含めてであり、それがこれからのスタンダードであり、それが社会に開くということだと思います。また、そうしたことを今、体験していくことが、これからの時代でネットを活用した個別最適化した学びや探求的な学びをデザインし運営していく力を養っていくことにつながると考えます。ともすれば教師の仕事は学びの場をコーディネートすることになるのでは、そうなれば授業という言葉がなくなるのでは？それくらい時代が動いているのだと思います。



(Youtube 画面より)

研修会動画参照: **Learn by Creation オンライン**

コロナ後の社会と教育の可能性 苫野一徳 (教育哲学者)× 尾原 和啓(フューチャリスト)

(<https://www.youtube.com/watch?v=dGx-4ALk hc>) 【YouTube 検索: 苫野一徳 コロナ後】

是非一度見ていただけたらと思います。

## できるところからやるしかない



苫野先生と尾原先生の話聞いた後、広島県のオンライン授業の記事を見つけました。

広島県では、県内の児童・生徒全員にあたる約 30 万人分のクラウドアカウントを無料で確保し、遠隔授業に必要な PC 端末や WiFi ルーター整備などをすすめられています。そうしたことを推進する中心におられる、広島県教育委員会平川教育長さんが BuzzFeed

News の 5 月 1 日、オンライン会議システムを使つてのインタビューに答えられたものです。

記事→<https://www.buzzfeed.com/jp/akikokobayashi/rie-hirakawa>

平川教育長の「よく言われがちな、平等意識ですね。1 人でも持っていない人がいたら平等ではないから、公教育としては取り組めないという。……子ども 1 人につき 1 台の端末と全世帯の通信環境がそろそろまでは何もできない、と待っていてよいものでしょうか。本来は保護者のパソコンや、私有のスマートフォンを使うべきではないですが、今は使わせてもらうしかない、できるところからやるしかないんです。」はずっしりとききました。

休業時にオンライン授業を行う方法(教育長 平川 理恵)Youtube 動画へ

[https://www.youtube.com/watch?time\\_continue=1&v=9z3EkMlj-zM&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?time_continue=1&v=9z3EkMlj-zM&feature=emb_logo)

明石市も家庭学習「みんなの学習クラブ」や「あかしチャンネル」を立ち上げています。また各校の HP もそれぞれ工夫され、少しずつ動き始めています。できることから始めていきたいですね。

## これからの学校づくり＝地域づくりを考える上で



これからの学校づくり＝地域づくりを考える上で、これまでの当たり前を見直し、未来を支える力に焦点を当てた教育を目指した学校が紹介された本もヒントになるのでは？ 木村泰子先生、工藤勇一先生、西郷孝彦先生、平川理恵先生といった今話題の先生方の本です。

これらの本に共通しているのは「子どもを信じて任せて待つ支える」といった姿勢であり、学びの個別化、探求的な学びといった学びのあり方の創造ではと思います。そこ

には「できることからやるしかない」という姿勢が必要なんだと思います。

また、Learn by Creation の別のオンライン動画も参考になるのでは？

○混沌とした時代をたくましく生きる子を社会で育てる(オンライン対談)

工藤勇一(前麴町中学校長)×中邑賢龍(東京大教授) 2020 年 4 月 29 日

○「好きを探せる力」のための家庭×社会×学校の役割とは？

～小さな探究者から大人までの学びを考える～(シンポジウム)

草本朋子×熊平美香×山藤旅間×堀田はるな

(文責:北本)

